

愛知みずほ大学瑞穂高等学校アクションプラン基本計画 (2016～2020) の進捗状況について

Y	P	D	C	A
未着手	計画	実行	評価	改善

1 基本目標

- (1) 生徒の主体性を培い、尊重する教育を目指す。
- (2) 教科及び教科外活動により、総合的人間力を有する生徒を育成する。
- (3) 知・徳・体の調和のとれた人間関係をめざし、未来をたくましく生きぬく気力あふれる人間の育成につとめる。
- (4) 地域貢献により、社会から支持される学校作りを目指す。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ すべての教育活動を通して基本目標の達成に向けて取り組んでいる。基本目標を達成するためには、コミュニケーションの場が必要不可欠であるが、学校行事の多くを中止せざるを得なかったのは残念であった。しかし、コロナ禍で ICT を活用した行事を新たに実施でき、生徒の主体的な取組を引き出すことができた。

2 教育活動

(1) 進路指導・学習指導

内外に「進路を大切に作る学校」と標榜し、単なる出口指導ではなく生徒個人の能力・適性に適合した進路指導を図る。なお、センター試験廃止後の新しい入試制度に対応した学習指導を展開するため、教員の資質向上に向けた校内研修・校外研修を積極的に導入する。

また、新学習指導要領への対応を行い、本校に相応しいカリキュラム編成を行う。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 年度当初の臨時休業で、授業が開始できたのは6月からであった。夏休みや冬休みを短縮して授業時間数は確保した。困難な中であつたが、精力的に進路指導を行った。

令和4年度実施の新教育課程編成は完成した。普通科コースに「教養コース」を新設し、他のコースの名称を改め、実施にあたっては、高大連携の強化を盛り込んだ。

教員の資質向上に向けた研修は、ICT 活用に関して行い、授業改善につながってきている。令和3年度入学生からタブレット端末を持たせ、ICT 教育の推進を図る。

(2) 生徒指導

モラル・マナーの向上を目指し、遅刻・欠席の減少並びに身だしなみの向上を重点とするほか、情報モラル教育の徹底を図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 日頃の登校指導により、遅刻はやや減少した。情報モラルについては、SNS への不適切な投稿で指導するケースが増えている。校内の Wi-Fi 環境が整い、令和 3 年度入学生のタブレット活用を見据えて、情報端末の指導のルールを検討した。

(3) 教科外活動

- ・ 生徒会活動に主体的に取り組むよう生徒支援を図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 文化祭をはじめ生徒会行事のほとんどが中止となった中、年度末に ICT を活用した学年行事を実施した。生徒会が中心となり、大型プロジェクターで各クラスと双方向のコミュニケーションをとりながら進行する形式で「オンラインクイズ」を行った。新しい取り組みに積極的に生徒が参加する様子が見られた。

- ・ 積極的に部活動に取り組むよう働きかけるとともに、強化部活動（卓球部、水泳部、スケート部）への支援を図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 夏のインターハイは中止となったが、感染症対策をしながら部活動を行った。冬の各種大会は実施され、スケート部はインターハイに出場した。また、卓球部、水泳部も全国大会に出場した。吹奏楽部は、入場者数や感染症対策をしっかりと行い定期演奏会を実施した。どの部活動も、細心の注意を払いながら、できる範囲で活動をつづけた。

3 その他

(1) 生徒募集

中学生のニーズに対応する渉外活動を展開し、各中学校の信頼を得るとともに、安定した生徒確保ができるよう図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 各中学校への訪問については、短時間で必要な説明をし、また、中学校の行事の変更に配慮しながら慎重に実施した。新たに高大連携を紹介したリーフレットを作成して、中学生に配布した。夏の体験入学は中止したが、11月に公開見学と入試説明会を行い、設置したばかりの大型プロジェクターを活用できたのはよいアピールになったと思う。次年度入試からは、中学校からの要望が多かったインターネット出願を導入する準備をしている。

(2) 高大連携

みずほ大学・短大との情報共有に努め、瑞穂高生の学園内進学を積極的に展開する。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 学園の大学・短大への進学者を増やすために、連携を図り、継続的に生徒への働き

かけをしている。本年度は、感染症の影響で短大との連携授業が実施できなかったが、計画は整っている。次年度、状況が許せば実施し、生徒の意識を高めていきたい。

年度末に、「1年生進路体験ガイダンス」を実施し、すべての生徒が愛知みずほ大学または愛知みずほ短期大学の講義を聞く機会となったのは良かった。

(3) 教育施設設備

生徒のニーズに対応した施設設備の充実を提案する。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 各校舎及び各体育館の環境整備を図るため、優先順位を付けた一覧表を作成した。夏休みの短縮で予定されていた改修ができなかったが、ICT 環境については、全教室へのホワイトボードや大型プロジェクターの設置、Wi-Fi 環境の整備などができた。施設・設備の充実は、生徒募集にも直結するため、着実に整備していく必要がある。

(4) 地域貢献

- ・ 交通立番を継続するなど、交通安全への積極的協力を展開する。
- ・ 瑞穂区役所主催の「ヤングサポーター瑞穂」に積極的に参加し、生徒会活動の一環とする。
- ・ 清掃活動などのボランティア活動を実施するなど、地域に愛される高校を目指す。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ 6月の授業開始以降は、毎月「ゼロの日」の交通立番を、教員・生徒会生徒が行った。例年3回実施している校外清掃ボランティア活動は1回しかできなかった。「ヤングサポーター瑞穂」もイベントは中止となった。

感染症が収まれば、積極的に地域貢献活動に取り組んでいきたい。